

分担金・拠出金の名称	国際連合地雷対策支援信託基金(UNMAS・VTF) 拠出金	評価	A
拠出先の国際機関名	国際連合地雷対策支援信託基金(UNMAS・VTF)		
国際機関の概要	国際連合地雷対策サービス部(UNMAS)は、効率的な地雷対策支援の実現、地雷・不発弾等による被害の削減及び犠牲者の社会への再統合を目的とし、主に紛争直後に再建に取り組む途上国政府に対する支援を行う。具体的な活動内容は、地雷・不発弾等に関する啓蒙活動、埋設状況の調査及び除去活動、犠牲者の支援活動、危険回避教育等であり、これらは紛争で疲弊した国に対する復旧・復興支援、その後の開発支援のフェーズに向けて、最も初期の段階で必要となる支援である。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:UNMAS・VTFへの拠出を通じて、我が国の重要外交課題の遂行を促進し、我が国実施事業との相互補完性を高める 活動指標:UNMASの活動を通じた我が国重点課題への貢献、UNMASと我が国の定期協議の実施、		UNMASは、我が国がオタワ条約署名以降、実質的な対人地雷の禁止と、被災国支援(地雷処理、被害者支援等)の強化を目指す包括的取組の一環として、人間の安全保障の実現という我が国重要外交課題に貢献。 また、UNMAS部長は毎年訪日し、重要外交課題及び相互補完性を高めるべく協議を行い、実行に移している。 UNMASは、ソマリアをはじめ、我が国大使館が所在しない国・地域を含む17の国・地域にて地雷・不発弾対策を行い、着実な成果を上げている。	
(2) 成果目標:UNMASにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標:国連の地雷対策活動を支援するドナーグループMASG (Mine Action Support Group)の議長枠の確保		UNMAS部長の毎年の訪日等の機会を捉え、我が国の意向を常に伝達できる状況にあるのに加え、我が国は、主要ドナーの地雷対策をコーディネートする場であるMASGの議長を2014年に続き2015年も務めている。 UNMASは、我が国提案を受けて地雷対策週間を昨年開始し、昨年に続き今年も週間イベントを成功裏に開催した(週間イベントの一つとしてUNMAS・JICA共催セミナーも実施)。	
(3) 成果目標:地雷・不発弾対策分野で主導的役割を果たすUNMASへの拠出を通じて、我が国の意見を反映する。また、UNMASが適切な組織・財政マネジメントを行う 活動指標:UNMASが地雷・不発弾対策分野で挙げた実績、内部監査部の活動評価結果、UNMASの組織・財政マネジメント向上努力		世界中で紛争の複雑化・長期化に加え、新たな紛争が勃発する中、UNMASの取り組む地雷・不発弾対応は、紛争で疲弊した国の復旧・復興の初期段階を担うもので、その後の開発段階への橋渡しとして重要。我が国は、部長訪日やMASG等の機会を通して、UNMASの意思決定に積極的に関与している。 UNMASは、プログラム・サイクルに沿った事業計画の策定やモニタリング体制の構築等の改善を図るなどして、活動の効率性・効果の向上に努めており、国連会計監査委員会による外部監査の結果、UNMASの財政マネジメントの問題はない旨評価されている。また、内部監査部の活動評価でもUNMASの活動実施体制は健全である旨評価されている。	
(4) 成果目標:UNMASにおける邦人職員増強を図る 活動指標:UNMASにおける日本人職員数の増加、邦人職員増強に向けた日UNMAS双方の取組		日本人職員数は、平成24年は2人、平成25年及び26年は3人、平成27年は4人と順調に増加している。 UNMASは、我が国拠出により実施される案件に積極的に邦人を採用するなど、邦人職員増強に向けて積極的に協力している。	
2. PDCAサイクルの確保		①計画段階(Plan): 我が国の関連政策(TICAD等)に照らしつつ、予算要求。 ②実施段階(Do): 予算拠出。UNMAS部長訪日や国連代表部との協議を通じて、UNMASの活動をモニタリング。 ③評価段階(Check): 国連会計監査委員会による外部監査報告書、内部監査部の活動評価結果により成果を評価。 ④フォローアップ(Act): UNMAS部長訪日等の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。	
担当課・室名	国際協力局 緊急・人道支援課		